



アンサンブル



2025.2.14

No.22

三宅小博士号 入賞者決定！ その1

1月20日の朝会で、三宅小博士号入賞者の表彰を行い、2月12日の朝会で、博士号の発表をしました。

本来、学習は誰かに教えられたことを覚えるだけではありません。日頃から問題意識をもって生活する中で、自分でテーマを見つけて、自分で調べて、さらに分かりやすくレポートにまとめていくことが非常に大切です。これが、「主体的・対話的で深い学び」という新しい学びにつながります。そうした学び方を身に付けた子どもは、さまざまな問題に立ち向かっていくことができます。まさに、三宅小博士号の目標だと思います。

今年の三宅小博士号の入賞者は12名でした。

今号と次号で入賞者のテーマと内容を紹介します。

入賞者（学年順）

おめでとうございます！

学年	名前	テーマ	内容
2	鈴木優杏	もし じしんがおきたら	令和6年1月1日に起きた石川県を襲った能登半島地震をきっかけにして、地震について調べました。自分の防災グッズや家族の防災グッズなど、2年生の目で感じたことや考えたことをまとめました。
3	福地芽生菜	スープを作ろう	体にいい料理をつくるために、レシピを教えてもらったり、本で調べたりして材料を考え、栄養満点のおいしいスープを作りました。また、そのスープの栄養素はどのようなものがあるのかをまとめました。
3	横井葉一	葉一世界国旗辞書	250カ国の国と地域を調べました。国旗を貼ったり、それぞれの国と地域の雑学もわかりやすくまとめました。たくさんの資料を使って、未認証国家も調べました。
4	伊藤理央	海を守ろう	海がなぜ必要なのか、今の海がどれだけ汚れてきているのかなどを調べて、今わたしたちができることについてまとめました。
4	鈴木瑛大	牛乳について	牛乳の種類について調べ、いろいろな牛乳を飲んでみた感想がまとめられています。

（次号に続きます）